

[畜産部門 平成 30 年度 普及する技術]

事 項 名	サイレージ用トウモロコシの奨励品種「パイオニア 110 日（系統名 P0640）」の特性		
ね ら い	本県に適するサイレージ用トウモロコシの品種を選定するため、流通品種の生育特性及び収量性を検討した結果、「パイオニア 110 日（系統名 P0640）」が既存の奨励品種と比較して収量性に優れることが明らかになったので、奨励品種として普及に移す。		
普 及 する 内容	<p>1 来歴 アメリカで育成されたデント種×デント種の単交配品種であり、平成 27 年からパイオニアエコサイエンス(株)から販売されている。</p> <p>2 主な特性（標準品種「パイオニア 106 日（系統名 36B08）」との比較）</p> <p>(1) 初期生育はやや劣るものの、良好である。 (2) 生育日数は 4 日程度遅い早生品種である。 (3) 稈長、着雌穂高は高い。 (4) 倒伏の発生は同程度である。 (5) 病害の発生はすす紋病は同程度であるが、紋枯病はやや高い。 (6) 乾物収量は 3 か年平均で 122%を示す。</p>		
期待される 効果	サイレージ用トウモロコシの安定生産に資する。		
普 及 上 の 注 意 事 項			
問い合わせ先 (電話番号)	畜産研究所 酪農飼料環境部 (0175-64-2791)	対 象 地 域 及び経営体	県下全域の 畜産経営体
発表文献等			

【根拠となった主要な試験結果】

表1 「パイオニア110日 (P0640)」の生育特性及び収量

(平成27～29年 青森畜産研)

品種・系統名	年次	初期生育	絹糸抽出期 (月/日)	刈取日 (黄熟期) (月/日)	生育日数 (日)	稈長 (cm)	着雌穂高 (cm)	倒伏 (%)	折損 (%)	病害		乾物収量		雌穂割合 (%)	TDN含有率 (%)
										すす紋病 (%)	紋枯病 (%)	総重 (kg/10a)	標準比		
P0640	H27	7.7	7/31	9/16	128	285	119	2.2	2.2	2.0	23.3	1,882	121	58.3	71.2
	H28	8.0	8/2	9/12	125	284	126	74.0	9.5	3.3	10.6	1,905	117	59.2	71.4
	H29	7.7	8/7	9/27	141	310	129	31.1	0.0	1.5	4.4	2,283	129	49.6	68.9
	平均	7.8	8/3	9/19	132	293	125	35.8	3.9	2.3	12.8	2,023	122	55.3	70.4
36B08	H27	8.3	7/27	9/14	126	225	94	0.0	0.0	2.3	13.3	1,559	100	56.2	70.6
	H28	8.3	7/27	9/7	120	219	92	70.0	0.0	2.3	11.1	1,635	100	54.2	70.1
	H29	8.3	7/29	9/22	136	255	98	23.3	0.0	1.7	1.1	1,774	100	49.4	68.9
	平均	8.3	7/28	9/15	128	233	95	31.1	0.0	2.1	8.5	1,656	100	53.1	69.8

- (注) 1 初期生育は9(極良)～1(極不良)とする評点法による。
 2 すす紋病は被害程度と被害面積に応じて1(無)～9(甚)とする評点法による。
 3 紋枯病は罹病個体の全個体に対する割合。
 4 TDN推定式: $56.0 + 0.26 \times \text{雌穂割合}$ 。
 5 平成28年:8/30の台風及び前線による影響で倒伏。
 6 平成29年:8/8～19の連続降雨による影響で受粉障害。9/18の台風及び前線による影響で倒伏。

耕種条件

項目	内容
試験圃場	畜産研究所内圃場(平成29年で連作10年目の圃場)
播種期	平成27年5月11日、平成28年5月10日、平成29年5月9日
栽植密度	7,017本/10a(畝間75cm、株間19cm)
施肥量	N-P ₂ O ₅ =10-10kg/10a、牛糞堆肥4,000kg/10a
除草法	播種後に土壌処理剤、トウモロコシの2～4葉期に茎葉処理剤を散布